

令和7年度第1回大分県森林づくり委員会 概要

日時：令和7年6月27日（金）14：00－16：10

場所：大分県庁新館 13 階 133 会議室

出席者：林委員長、田中副委員長、大平委員、長委員、板場委員、中野委員、綿末委員、
菅委員、河野委員、今村委員、那波委員、堺委員、訖摩委員

公開、非公開の別：公開

傍聴人数：0 名

議事1 令和6年度大分県森林環境税活用事業の取組について

令和6年度の事業実績の中から3事業について、事業担当課から説明した。

①安全・安心な道路環境創出事業（道路保全課）

道路沿線で倒木被害のおそれがある樹木を伐採する事業について、事業内容・実績を説明した。

②再造林促進事業（森林整備室）

低コスト再造林への助成事業について、事業内容・実績を説明した。

③森・川・海つながり実感！プロジェクト（漁業管理課）

森と川と海の繋がりを一体的に学ぶ小学生を対象にした体験プログラムについて、事業内容・実績を説明した。

議事2 令和7年度大分県森林環境税活用事業について

令和7年度の事業計画について、令和6年度第3回大分県森林づくり委員会結果からの変更点を中心に事務局が説明した。

（委員の主な意見等）

○人づくり関係の予算が減っている。第5期も大きな柱として「未来につなぐ人づくり」とあるので、人づくりがやれることを実行段階で考えて欲しい。

議事3 第4期大分県森林環境税報告書について

大分県森林環境税の第4期の活用状況や今後の方針を大分県森林づくり委員会結果から意見をまとめた報告書案について、事務局が説明し、報告書のとりまとめに向けて意見をいただいた。

（委員の主な意見等）

○県の森林環境税と国の森林環境税でどの事業を実施しているかがわかりづらい。国の森林環境税で市町村が実施した事業はどのくらい効果があり、県の森林環境税で実施しない事業は市町村に引き継がれているか見えると良い。

○県の森林環境税と国の森林環境税のカーボンニュートラルに対する考え方や目指しているものについて、県民が理解できるようにした方が良い。

○担い手確保で、森林・林業教育に就職先としての林業といった視点を加味したら良い。

○副読本に関して、学校の先生の感想や活用事例を把握し、今後も継続して使うことが必要。

○森林環境税の認知度を見ると知らない人がたくさんいるので、子供に対する教育も必要だが、大人にも森を守ることが地球温暖化防止等に繋がることを知ってもらう広報が必要。

議事4 大分県森林環境税の名称について

国の森林環境税と名称が同じで混同するため、県の森林環境税の名称を変更する方法や方針について事務局から説明し、意見をいただいた。

（委員の主な意見等）

○他県の状況を参考にしたらどうか。